

研修会内容(平成30年度)

参加者数

【1日目】29団体 44名

【2日目】23団体 40名



○プログラム

開催自治体：福島県南相馬市

－ 8月30日 1日目(会員研修) 南相馬市情報交流センター －

●会員研修

【講演】講演①「福島第一原発事故による警戒区域等の設定と市民の意識」

南相馬市教育委員会文化財課 市史編さん係 主任主査
(元南相馬市行政改革推進室長) 田中 稔 氏

講演②「平成27年9月関東・東北豪雨の災害概要と教訓・取組事項」

茨城県常総市市長公室防災危機管理課副参事(危機管理監)
溝上 博 氏

【トピックス】「空撮画像による建物被害推定の現状と課題」

講師：東京工業大学 環境・社会理工学院 教授 松岡 昌志 氏

【質疑応答】

コーディネーター：常葉大学大学院環境防災研究科 教授 田中 聡 氏



開会のあいさつをする
ネットワークおぢや丸山会長



開催自治体
南相馬市 松浦副市長

－ 8月31日 2日目(現地視察) －

●南相馬市及び浪江町の施設等の視察

会員研修

講演①

福島第一原発事故による警戒区域等の設定と市民の意識

福島県南相馬市 教育委員会 文化財課 市史編さん係 主任主査
田中 稔 氏

原発事故直後の不確かな情報に惑わされ、避難指示区域外の住民までが自主避難したことで大混乱をきたした市民の行動要因の分析。

また、原発からの距離によって補償額などに格差が生じた結果、市民の意識と生活に影響を与えている現状について講演していただきました。



会員研修

講演②

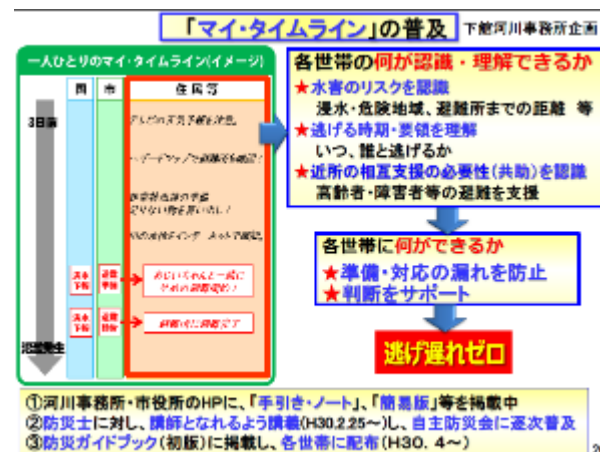
平成27年9月関東・東北豪雨の災害概要と教訓・取組事項

茨城県常総市 市長公室防災危機管理課 副参事（危機管理監）溝上 博 氏

宮城・栃木県を中心に観測史上1位の降水量を記録した豪雨災害の概要について。さらに、災害から得た教訓に基づいて取り組んだハード面及びソフト面の整備状況について講演していただきました。



浸水した市役所（H27.9.11撮影）



トピックス

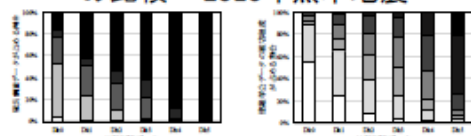
空撮画像による建物被害推定の現状と課題

講師：東京工業大学 環境・社会理工学院 教授 松岡 昌志 氏

災害規模が大きく、被災地域が広域にわたる場合に有効と考えられている空撮画像からの目視による建物被害判読の精度の検討、また効率化と高精度化を目指した最近の研究(3Dモデルの利用等)についてご紹介いただきました。



空撮目視判読と他の被害判定(罹災と学会)の比較 - 2016年熊本地震 -



空撮目視と罹災調査の比較
空撮目視と学会調査の比較

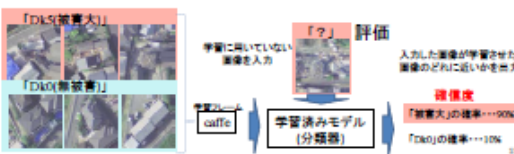
- 目視判読データの「D6」は 95%以上が罹災調査データの「全壊」
- 目視判読データの「D5」は 約80%が学会データの「D6」と「D5」
- 目視判読データの「D6」は 学会データの「D6」が約55%、「D5」が約30%

目視判読から被害が明らかな、甚大な被害の建物および被害の少ない建物は現地調査による被害判定と対応が良い

2016年熊本地震にて試行

学習・検証に用いるラベル(正解データ)は、目視データを用いる

	D6D	D61	D62	D63	D64	D65	D66
学習データ	2611	0	0	0	0	2611	522
検証データ	2611	0	0	0	0	2611	522
評価用データ	1879	424	433	556	125	527	3542



画像に写らない被害を推定できるか？



会員研修

【質疑応答】



コーディネーターの常葉大学大学院
環境防災研究科教授 田中 聡 氏



北九州市 新山氏



浪江町 吉田氏



常総市 小林氏



常葉大学 吉原氏



現地視察(南相馬市、浪江町)



視察の冒頭、ごあいさついただいた
左: ネットワークおぢや 大塚副会長(小千谷市長)
右: 開催自治体 南相馬市 門馬市長

震災後新たに建てられた施設や今なお震災の爪痕の残る地域など、およそ3時間半の行程を両市町の職員よりご案内いただきました。



南相馬市 消防・防災センター

東日本大震災の記録と津波の高さを示す柱



南相馬市 防災備蓄倉庫

約9,000人分の食糧3日分などが保管可能



南相馬市原町区小沢地区周辺

高さ約15mの津波が襲った

現地視察(南相馬市、浪江町)



浪江町 東日本大震災慰霊碑



浪江町
立ち入り禁止区域を示す看板



閉会のあいさつをする
ネットワークおぢや 重川副会長
(常葉大学大学院 教授)

研修会参加者の感想

南相馬市の田中さんについては、辛い思い出もある中実体験を語っていただきありがとうございました。2日目の現地視察も有意義なもので良かった。

常総市の溝上様のお話は本市もH28に台風被害もあったことから非常に勉強になった。本市も昨年度から講演会や職員研修会を実施していることから職員にも聞かせたい内容だった。

松岡先生の空撮による被害判定は初めて聞く話で驚いた。先進的な話を聞けてありがたい。実用されるまで課題も多いかもしれないがかなり有効な手段だと思った。

1日目、2日目とも充実した内容であった。項目、資料もとても良かった。バスの中の説明も丁寧でわかりやすかった。

初日の講演では発災時に現場で実践してこられた貴重な話を聞くことができ、2日目の現地視察では復旧・復興の現場を直接見る貴重な体験ができ有意義な研修だった。